

第7章

「かせつじゅうたくをつくるしごと」

副読本 42 - 43 ページ

ねん 年      くみ 組      ばん 番      なまえ 名前

1 今日きょうの学習がくしゅうで思ったおもことや考えたかんがことを書かきましょう。

Blank lines for writing answers to the question.

道徳・学級活動

かせつじゅうたくをつくるしごと

朝あさの5時じにおこされ、じじのトラックとらっくにのってふたり、石いしのまきにむかって出でばつしました。

トラックには、かせつじゅうたくのやねとやねをとめるナットなつとをつんで行いきます。

松島まつしまだい五ご小学校しょうがっこうの校まていの4よばいぐらいてっかい山やまの上うへのあき地ちに、新あらたしいじゅうたくを作つくっていました。じじがロープろーぷをはずしてクレーンくれえんのワイヤーわいあをにもつにかけおろします。

すぐくあついで、エアコンえあこんを止とめるのでまどを全ぜんかにしてやりま。それでもあつくてあつくて、あせだくになつてはたらいていま。みんないそいでいま。つなみて家いえをながされた人ひとたちのために、みんな一生いっしょうけんめいはたらいていました。あついで、人のためにはたらくつて、すごいなあと思おもいました。

じじやそういうしごとをしてる人たちは、ほんとうにすごいです。

じじやあのあついで中、こまってる人たちのために、はたらいてる人を見、そういう人のために、なるしごとをしたいと思おもいます。

(作文宮城60号 特別編「あの子どもたち」より)

